

Shokuhin News -2008 October-

神戸大学 農学部 生物機能化学科 食品・栄養化学研究室

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1 電話 078-803-6553 Fax 078-803-6553

e-mail: shoku@kobe-u.ac.jp http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin

News

生物機能化学実験 I

生物機能化学実験 I (生物機能化学科2年生)第二部が10月20日から始まった。今年3月に、微生物機能化学研究室内の村上周一郎准教授が明治大学農学部へ移動し、植物機能化学研究室内の脇内成昭准教授が御退官されたため、今年度は、橋本助教、竹中助教、山内助教の3名で担当した。

食品・栄養化学研究室は、サンプル調製、水分の定量、灰分の定量とケルダール法によるタンパク質の定量を担当。M2の学生がティーチングアシスタントとなり、さらにM1とB4の学生が、それをサポートした。



ケルダール分解について説明を行う橋本助教(中央)



学部二年生のケルダール蒸留の操作を心配げに見つめる桃田(B4)(左)

学生実験をサポートした感想を河野(B4)が代表してコメント。

二回生は始めて体験する実験ということもあり、戸惑うこともありましたが、素直に実験に取り組んで

くれ、私たちも楽しく取り組むことが出来ました。

多忙な中助けていただいた上田さんを初めとする先輩方、先生方どうもありがとうございました。

B4 河野 裕明

第十八回年次講演会 温故知新-食の原点を考える-

10月23日(木)に新・都ホテル(京都)で㈱日本食品開発研究所主催の第十八回年次講演会が開催された。食品・栄養化学研究室からは金沢教授とM1の羅、辻上、東、岡村が出席(橋本助教は、急遽、別途開催されたDNAマイクロアレイの講習会へ参加したため欠席)。また、糖鎖機能化学研究室からは水野教授、田之上(M2)、趙(研究生)が出席した。

食品・栄養化学研究室ではM1メンバーが作成したポスター「食品中の非栄養機能性成分に関する研究」を展示会に出展し、昨年同様に「タマネギ石鹸」の展示も行った。展示会は、食品に関わる研究を行っている大学の研究室を紹介する企画。京都大学、京都女子大学、近畿大学、畿央大学などがそれぞれの研究活動を、ポスターなどを用いて紹介した。なかには、卒業研究で試作したパウンドケーキの官能検査を実施するなど、にぎやかな展示会となった。



食品・栄養化学研究室のポスター(右)と糖鎖機能化学研究室のポスター



展示ブースに集まった参加者の方々と展示物の説明を行う岡村(M1)



展示を終え、展示ブースの前で記念撮影を行う食品メンバー(左から羅、辻上、東、岡村)

参加者を代表して辻上(M1)がコメント。

みんなで取り組んだポスター作成や展示物の準備など初めての体験で大変なこともありましたが、協力して何とか乗り切れたと思います。発表会場での懇親会など思い出に残るイベントとなりました。ご多忙にも係わらずポスター作成に早朝、深夜を問わずご尽力いただいた橋本先生、慌しくも協力してくれた同期の皆さんどうもありがとうございました。

M1 辻上 沙希

10月の誕生日会

10月23日(木)、10月に誕生日を迎えた東(M1)、桃田(B4)、下秋(B4)の誕生日会を研究室でおこなった。



プレゼント(ボールペン)とケーキを前に笑顔の下秋(B4、左)と桃田(B4)



プレゼントを手に笑顔の東(M1)

おめでとうございます！！

業績

学会発表)

○Kazuki Kanazawa and Takashi Hashimoto, Fucoxanthin in brown algae is a bioavailable cancer preventing food factor. 5th International Meeting on Advances in antioxidants (trace elements, vitamins and polyphenols): Molecular mechanisms, nutritional and clinical aspects (11-15th October, 2008, Monastir - Sousse, Tunisia)

Events

○農学部六甲山20km マラソン大会
日時:12月20日(土)14時スタート
集合場所:六甲山上ケーブル駅

○OB・OG 忘年会
12月28日(日)に決定。時間は昼ごろを予定していますが、詳

細は未定です。決まり次第、ご連絡させていただきます。

編集後記

私の神戸大学での生活も本年度修了できるのであれば、残すところあと少しとなりました。新しい生活を始めるためにも、大学院での生活を悔いなく締めくくりたいと思います。残された時間もどうか宜しくお願いいたします。

M2 前田 太史